

基幹センターだより

vol. 16 (2025年1月発行)

《相談窓口》北区障害者基幹相談支援センター

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター内

TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL: peernet@peernet.or.jp

開所日時:月～金 10時～18時 第2・4土 10時～17時 *第1・3・5土・日・祝・年末年始は休み

【今号の内容】

キッズフェスタ 子どもの福祉用具展 2025 のご案内	1
服薬講座「薬との上手な付き合い方」のご案内	2
ハンドメイド教室・ご飯会（夜間）のご案内	3
講座「親なきあとの準備と成年後見制度」のご報告	4

キッズフェスタ 子どもの福祉用具展 2025 のご案内

18歳以下の子供たちのための福祉用具展「キッズフェスタ アンダー18」。車いすや歩行補助具、生活用品、衣類、福祉車両などが展示されます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

開催日：2025年4月19日（土）、20日（日）

時間：10：00～17：00



※最終日は16：00まで

会場：TRC 東京流通センター 第一展示場

（東京モノレール「流通センター」駅隣接）

※ご来場には事前登録が必要となる場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

入場無料

お問い合わせ：キッズフェスタ事務局<S.P. ビームス(株)内>

TEL 03-5207-6493 FAX 03-3252-5668

ホームページ：<http://www.kidsfesta.jp/>



服薬講座「薬との上手な付き合い方」のご案内

～障害がある方とご家族・福祉関係者優先～

薬との上手な付き合い方

薬は何のために飲むの？
自己判断で薬の調節は危険？
薬を使うと副作用が心配…
薬とサプリメントはどこが違う？
薬剤師にはどんな相談ができるの？



服薬の際、こうしたちょっとした疑問や不安を感じることも、多いのではないのでしょうか？

薬は私たちにとって身近な存在ですが、薬について勉強する機会はなかなかありません。今回の講座では、帝京大学薬学部名誉教授の小佐野博史氏をお迎えして、薬の基本的な知識を学びます。

障害のある方、ご家族をはじめ、服薬の支援に携わる福祉職員の皆さまのご参加をお待ちしております。

こ さ の ひ ろ し

講師：帝京大学薬学部名誉教授

小佐野 博史 氏

日時：2025年 3月 11日（火）10時～11時30分（受付：9時45分）

会場：障害者福祉センター 別館第1ホール

定員：30名先着順 参加費：無料

対象：北区に在住・在勤・在学の障害者（児）、ご家族、福祉関係者

申込方法：お電話、FAXまたはメールにてお申込みください。定員を超えてご参加いただけない方のみご連絡いたします。

申込締切：2025年2月28日（金）

*個人の症状や、個人の処方についてのご質問にはお答えできませんのでご了承ください。

【お問い合わせ・お申し込み先】

北区障害者基幹相談支援センター

Tel&Fax : 03 - 3905 - 7226 受付時間 月～金 10時～18時、第2・4土 10時～17時

住所 : 〒114-0032 北区中十条1-2-18 障害者福祉センター内

E-mail : peernet@peernet.or.jp

ハンドメイド教室・ご飯会(夜間)のご案内

《ハンドメイド教室》

【日 程】 2月8日(土)、2月22日(土)

【時 間】 10時30分～12時

【内 容】 簡単な手芸を行います

【定 員】 6名(定員を超えた場合は抽選)

【持ち物】 マスク、ハンドタオル

【参加費】 一回毎に300円(材料費)



《ご飯会》

【日 程】

第1回	2月19日(水)	17:00～18:00	夕食をつくります ※1回目は親子丼 2回目と3回目は話し合って決めます
第2回	3月19日(水)		
第3回	4月16日(水)		

【定 員】 3名(定員を超えた場合は抽選)

【参加費】 一回毎に300円(材料費)

【持ち物】 エプロン・三角巾、ハンドタオル・マスク



《以下、共通》

【場 所】 障害者福祉センター2階 北区障害者基幹相談支援センター

【対 象】 区内在住・在勤・在学の、「愛の手帳」をお持ちの方で一人での

参加が可能な方。全ての回に参加可能な方。

※初参加の方のみ、ご記入いただきたい書類がございますので、保護者の方も一緒にお越しください。所要時間は10分程度です。ご来室が難しい場合は別途ご相談ください。以前に参加されていた方で、書類への記入がまだの方もお手数ですがご来室ください。

【申込方法】 1月29日(水)までに、電話(3905-7226)にてお申込みください。

講座「親なきあとの準備と成年後見制度」のご報告

成年後見制度の理解を深めるための講座として、NPO 法人成年後見ウィル理事長阿部由美氏をお招きし、障害のある人の家族が知っておきたい「親なきあとの準備と成年後見制度」を10月11日に開催しました。阿部さん自身も知的障害を持つ娘さんがいらっしゃる、親としての立場と成年後見人としての立場と両方の視点でのお話を伺いました。

講座では、まず親なきあとの課題を『お金』『生活の場』『日常生活』の3つに整理し、親あるうちのような準備が必要になるのか、何からどう準備を始めればいいのかを、具体的な例を交えながらお話しをしていただきました。その3つの課題の中で『生活の場』を優先して考えることが大切であり、住まいが決まることで、お金のことやご本人に対してどのような支援が必要になるかがみえてくる、ということをお話いただきました。また、成年後見制度についての現状や課題、どのような人に必要なのかなど、後見人を利用している障害者の方の暮らしの事例をご紹介いただきながら説明していただいたので、イメージしやすく、成年後見制度についての理解を深めることができました。



【参加者の声】

- ・親なきあとの準備等、成年後見制度の説明だけでなく、様々な事例をふまえてお話ししていただきわかりやすかった
- ・後見人が必要なケース、遺言の必要性、今後の動向について理解できました
- ・日頃から様々な福祉サービス、支援者につながっていることの大切さを再認識した

今回40名近くの方にご参加いただき、とてもわかりやすかったとのお声を多数いただきました。ありがとうございました。

基幹相談支援センターでは、成年後見制度の理解を深めるための講座を毎年度企画しています。2025年度も開催を予定していますので、成年後見制度を一から学びたい方や、知識を更に広げたい方など、沢山の方にご参加いただければと思います。